

施設紹介



医療型障害児入所施設・療養介護

北海道療育園

〒071-8144
北海道旭川市春光台4条10丁目
TEL:0166-51-6524
FAX:0166-51-6871



医療型障害児入所施設・療養介護・療養病棟

美幌療育病院

〒092-0030
北海道網走郡美幌町美富9番地
TEL:0152-73-3145
FAX:0152-73-5298



指定障害者支援施設・生活介護

つつじの里

〒071-8144
北海道旭川市春光台4条10丁目
TEL:0166-52-2013
FAX:0166-52-2064

その他の関連事業所

旭川市

- 児童発達支援センター 他 旭川通園事業所
補装具事業所 TOOL BOX(つーるぼくす)
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条10丁目
TEL:0166-51-6524 FAX:0166-51-6871
- 相談支援センター Be-ねくすと
〒071-8143 北海道旭川市春光台4条10丁目
TEL:0166-73-9018 FAX:0166-76-1966
- 訪問看護ステーション けあぶらす
〒071-8143 北海道旭川市春光台3条10丁目
TEL:0166-76-1192 FAX:0166-76-1966
- 居宅介護事業所 A;ssist-CARE
〒071-8143 北海道旭川市春光台3条10丁目
TEL:0166-76-7206 FAX:0166-76-7568
- 生活介護(通所型) デイセンター くるみ
〒071-8144 北海道旭川市春光台4条10丁目
TEL:0166-52-2013 FAX:0166-52-2064
- 生活介護(パン工房) ぶらたん ガトー
〒071-8142 北海道旭川市春光台2条6丁目4-3
TEL:0166-53-7828 FAX:0166-53-7828
- 共同生活援助(グループホーム) つつじグループホーム
・こぶし/さくら
〒071-8143 北海道旭川市春光台3条10丁目
TEL:0166-85-7266 FAX:0166-55-3360
・かしわ/かえで
〒071-8141 北海道旭川市春光台1条6丁目
TEL:0166-51-1090(かしわ)
TEL:0166-51-1091(かえで)

滝川市

- 児童発達支援事業 他 滝川通園事業所 たんぼぼの家
〒073-0003 北海道滝川市滝の川町西7丁目927-18
TEL:0125-74-6636 FAX:0125-23-7000

美幌町

- 相談支援センター ばれっと
〒092-0030 北海道網走郡美幌町美富9番地
TEL:0152-73-3145 FAX:0152-73-5298
- 就労支援多機能型事業所 ワークセンター びぼろ
〒092-0030 北海道網走郡美幌町美富9番地
TEL:0152-75-0330 FAX:0152-73-1518
- びぼろ・新町あすなろ
〒092-0015 北海道網走郡美幌町新町2丁目3番地1
TEL:0152-72-0836
- 共同生活援助(グループホーム)ソング、スマイル
〒092-0015 北海道網走郡美幌町新町1丁目7-18
(バックアップ施設:ワークセンターびぼろ)

詳しくはこちらから

<http://www.hokuryo.or.jp>



BE RICH IN HEART



豊かな心で、
豊かな自然の中で。

RECRUIT GUIDE



社会福祉法人 北海道療育園

豊かな心が、 豊かな療育を実現する。

気持ちを伝えるのが、困難な人がいます。
伝えたい、という気持ちを受け取れるのは、
知りたい、という気持ちだけ。
このあゆみよりが、奇跡を起こす瞬間があります。

若い人から、お年寄りまで。
様々な障害のある方が、長い時間をともに過ごします。
たとえうまく話せなくても、やさしさを感じる。
あの笑顔に、何度救われただろう。
職員が受け取るものも、果てしなく大きく、尊いのです。

人間関係の、すてきな人たちがぎゅっと詰まっている。
北海道療育園とは、そんな場所です。

法人基本理念
BASIC PRINCIPLE

北海道療育園は、
福祉の文化化を
めざしています。

- 1 健康で文化的な施設づくり
- 2 利用者が主人公である施設づくり
- 3 利用者を中心にいた対応のできる職員の養成
- 4 利用者と職員の基本的人権がともに守られる施設運営
- 5 地域に根ざした施設づくり
- 6 「福祉施設は社会の共有財産」を基本とし、健全かつ透明な施設運営

Interview 職員インタビュー

北海道療育園

准看護師
加賀 匠
Kaga Takumi
(2022年4月入社)

働く人の人生にも、 手をさしのべてくれる職場。

今、正看護師の資格取得のために、夜間学校に通っています。勤務時間は常に日勤で、9時半から16時半まで。土日がお休みというシフトで時間的な待遇を受けています。

母もここで働いていて、「療育園、だいすき」と言っています。あるとき体調を崩して長期間療養しましたが、心からの労りがあり、母も待ち望んで復帰したことを覚えています。

利用者さんと関わるうち、知ろうとする気持ちの大切さに気づきました。観察し、理解しようと努力することが自分の成長にもつながっています。しっかりと勉強して、安全な看護の提供をめざしていきます。

ある一日のスケジュール

- 08:30 出勤、ラジオ体操
- 09:30 業務開始/全体申し送り、オムツ交換or看護業務
- 10:30 保清
- 12:00 食事介助
- 13:30 休憩
- 14:30 入浴介助or看護業務
- 16:30 退勤

人の力を必要とした私が、 人の力になりたいと思った。

聴覚に障害がありますが、これまで多くの方々に助けられてきました。次は私が誰かの力になりたいと思いました。

DVDを観るのが好きな利用者さんがいます。職員がDVDを選んで再生するのですが、ご本人が選べるよう促してみたところ、表情がみるみる明るくなったのです。私もうれしくなるような笑顔をもらいました。療育園は長い時間を利用者さんと過ごすので、様々なことに挑戦できます。

最初は聴常者の世界を知りました。次に療育園に出会い、広い世界があることを知りました。利用者さん一人ひとりの個性や想いを丁寧に受け取り、笑顔になれる環境をつくっていききたいと思います。

ある一日のスケジュール

- 09:30 出勤、申し送り、オムツ交換、着替え
- 10:00 保清、掃除、関わり
- 12:00 食事介助
- 13:30 オムツ交換、関わり
- 17:00 食事介助、就寝準備/退勤

生活支援員
姉崎 皓実
Anezaki Koumi
(2022年4月入社)



看護師
佐藤 美咲季
Sato Misaki
(2019年11月入社)

産休を経て、職場復帰。

子どもを持ち、視野が広がった。

意思の疎通がむずかしい利用者さんが多いのですが、最近では察知できることが増えてきました。長い時間関わり合うので、相手の変化も自分の変化もわかりやすいところにやりがいがあります。

昨年産休をいただき、復帰してからは、自分の子どもだったら?という視点を持てるようになりました。周囲の方々と力を合わせて業務にあたり、毎日残業はありません。就労時間の自由度も高く、みなさんやさしくて、本当によかったと思っています。

同じ職場でがんばり続ける看護師は多いですが、自分に合った職場なら仕事を続けられるかもしれません。新しい出会いを大切にしてください。

ある一日のスケジュール

- 09:00 出勤、オムツ交換
- 11:00 経管栄養
- 13:00 帰宅して休憩
- 14:00 お風呂介助、散歩など
- 16:00 オムツ交換
- 17:00 経管栄養
- 17:30 退勤



銀行員から、生活支援員へ。

未経験でも安心して飛び込んで。

日々の生活を支える中で、多くのやりがいがあります。また、年に1回の北療祭では、利用者さんと職員、地域の方々が楽しく過ごす大切な時間になっています。今後は病棟内で楽しめるアクティビティの幅を広げたいと考えています。いろいろなアイデアを考えて、試すチャンスもいただいています。

未経験からの転職で、先輩にしっかりと指導していただき、介護資格は後から取得しました。たいへんな仕事ですが、残業がまったくない、休日が多い、ということも大きなポイントです。オンとオフを切り替えて、充実した人生を生きることができる職場だと思います。

ある一日のスケジュール

- 09:30 子どもを幼稚園に送って出勤
- 09:35 排泄介助
- 10:30 サンプル活動
- 12:00 昼食介助
- 13:00 休憩
- 14:00 活動or入浴介助
- 15:30 排泄介助
- 17:00 夕食介助
- 18:00 退勤



生活支援員
藤本 健人
Fujimoto Kento
(2017 入社)



生活支援員
桑山 美弥
Kuwayama Miya
(2019年4月入社)

保育の道から、障害者支援の道へ。

多様な個性と向かい合い、学ぶ毎日です。

保育科出身で、幼児教育の世界から転職してきました。福利厚生も充実していて、人間関係もよく、転職してよかったと思っています。

18歳から90歳まで、主に知的障害のある方の中活動とグループホームでの生活支援を行っています。最初は必死でしたが、3年ほど経つと視野が広がって柔軟性が出てきたと感じました。

利用者さんと接していると、やさしさや深い洞察力をもつ人が多いと気づきます。自分も多視点でものごとを捉えられるようになり、いつも新たな発見があります。やりがいは、ダントツです。相談しやすい職場の雰囲気も成長を支えてくれます。安心して扉を叩いてください。

ある一日のスケジュール

- 08:00 出勤、送迎(添乗)
- 09:30 朝礼、作業等開始
- 12:00 昼食
- 12:30 休憩
- 13:30 レクリエーション、余暇他
- 15:30 送迎(添乗)もしくはグループホーム支援
- 16:30 退勤



数字で見る療育園

一人ひとりが「働く喜び」を感じ、自ら成長できる環境を整えています。北海道療育園の安心できる環境・支援を数字で表します。

設立年(北海道療育園)

1969年
(S44.4.1)

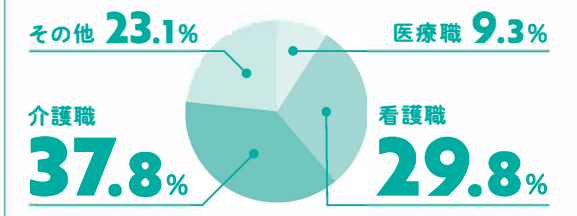
グループ施設数

16拠点

職員数

793名
(パート55名含む)

職種の割合



年間休日数

119日

平均有給休暇数

15.6日

平均残業時間

3.36時間

産休取得率

100%

平均勤続年数

13年



一人ひとりがいきいき働ける環境を目指し、さまざまなサポート体制の充実や改善を行ってきました。これらの取り組みが評価され、2014年に「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定を受けました。

CROSS TALK

"障害者福祉施設"のお仕事

障害者がまちに
解け込んでいく。
そんな社会はきっと、
誰もが生きやすい社会。

一人ひとりの利用者さんに、 じっくりと向き合える。

小柴／わたしは子どもの頃に、北海道療育園を知りました。その頃から身近に感じていたことで、就職につながったのですが、みなさんは、どんなきっかけで就職したんですか？

森川／実習先が療育園で、1か月過ごしてみて絶対に就職したいと思って。求人はいなかったのですが、猛アタックしました。

小柴／猛アタックの理由は？

森川／リハ科は和気あいあいとして会話が多く、楽しかったんです。

1対1でじっくり利用者さんと接する様子を見て、あたたかい気持ちになり、尊敬できるなあと。ふだんは寝ていることが多い方でもリハビリに来るとイキイキとして表情がパツと明るくなったりして、リハビリで笑顔を引き出せるってすごい！と感動しました。

竹山／わたしは一般的な病院の看護師でしたので、とても忙しくて、正直向いていないなと感じていました。怒られる！と思うとよけい失敗してしまうタイプで。患者さんのためじゃなく、先輩がこわいからという理由でがんばるのも、イヤだなと。療育園に見学に来て、楽しそう、もうちょっと深く知りたいなと思いました。

一人ひとりの利用者さんにじっくり接する時間があることも、魅力ですね。働き方にしても、自分の時間がちゃんと取れます。すべての時間がゆっくりと流れる、ということが、わたしには合っているんです。

強い個性や優れた能力があって、 人間らしい家族のような絆がある。

小柴／入社してから気づいたことは？

竹山／最初はどう接したらいいか、戸惑うこともありましたが、なんとか感情を伝えようとしてくれていると気づきました。働く前は、障害者の方をどこか冷たい目で見てしまっていたと思うのですが、一人ひとりに関わる時間が多いので、深く知るほど見方が変わりました。

森川／そうですね。それぞれ強い個性や人間らしさがあります。複数人部屋なので、利用者さん同士のコミュニケーションもあって、一つのテレビで静かながらチャンネル争いがあったり(笑)、伝えるのが困難な方の代わりに他の利用者さんが伝えようとしてくれたり。ずっと一緒にいるから、愛情が湧きます。最初は拒否することが多かった方が、ニコニコしながら待っていてくれるようになると、本当に嬉しいんです。

福利厚生は、自分たちにとっても、 利用者さんにとっても、いいこと。

小柴／働く環境としては、どうですか？

竹山／困ったことやわからないことを、先輩に聞きやすいと思います。一般の病院だとビリビリしていて、先輩は厳しいです。ここは長く勤めている看護師さんが多いので、年齢は離れていますが、お母さん世代の包容力が

あって、後輩の育て方をよくご存知なんですよ。やさしいし、深い洞察のあるアドバイスが素晴らしいです。いろいろ教わりたくて、聞きにいったり、話しかけたりします。

小柴／なるほど。利用者さん約300名に対して、職員は約500名いますからね。人数が多く、多様性があるということは、働く環境としては恵まれている要素かもしれません。利用者さんにとっても、手厚い。あと、たとえば年齢に幅があると、若い人は将来の自分を考える機会になります。モデルケースが多いので、キャリアパスを描きやすい。

森川／療育園はお休みが取りやすいなと思います。良い環境の中で働きながらお休みの日は自分の時間も楽しむことができます。

休み明けは心にゆとりをもってまた頑張れることができるので、ありがたい環境だなと感じます。

小柴／学生のときから、福利厚生って大事だなと思ってました。その点でも充実していて、就職してからの満足度は高いですね。

人と関わるのが好きな人、 クリエイティブな人も活躍できます。

小柴／では、どんな人が療育園に合っているかというと、やはり人と関わるのが好きな人が、なによりいちばんですね。

森川／想像力のある人、創造的な人も向いていると思います。作業療法士がアイデアを考えて利用者さんが使う機器をつくりたり、利用者さん同

HOKURYO

療育園で働く先輩たち

第4療育課 看護師

竹山 優菜 (2022年11月入社)

看護師として、利用者さんの生活面全般を支援するとともに、きめ細かい健康管理を行っています。休みの日には、おいしいお店を探してドライブへ。家で編み物をしながらぬくぬくと過ごすこともあります。



リハビリテーション科 作業療法士

森川 結智果 (2022年4月入社)

身体機能維持のためのリハビリテーションを、遊びを通して楽しく体験していただいています。休日は、映画鑑賞や読書のかたわら、もこもこの愛犬(犬種はビションフリーゼ)と遊ぶのが好きです。



総務課 事務員

小柴 祐輝 (2020年4月入社)

職員の方々に働きやすい職場を提供するために、環境づくりや採用活動も担当しています。プライベートでは、友人とカフェめぐりや、古着屋めぐりを楽しんでいます。



士のグループ活動でひとつの作品をつくる時にはファシリテーションが重要だったり。クリエイティブな活動に向いている人は、利用者さんに心豊かになってもらえる支援ができると思います。

地域とのふれあいの機会を増やし、 誰もが生きやすい社会にしていきたい。

小柴／幼稚園時代、療育園のことを北療祭で知りました。北療祭は素敵な時間ですね。もっと地域との関わりが増えるといいのですが。

竹山／知る前は、こわいという意識がありました。こういう施設があって、こういう人たちがいると知ってもらうのは大切ですね。

森川／知らないことによる偏見の目、というものがあると思います。わたしはここに来て、いいギャップがすごいです(笑)。利用者さんもわたしたちも何も変わらないし、こわいことは何なかった！

竹山／ふれあう機会が、療育園を超えて社会に広まれば、きっと重度障害者が生きやすい社会になりますよね。当事者もたいへんですが、家族や周囲の人たちも苦労をしているので、地域の支えがあれば、障害者だけではなく地域全体がよくなるんじゃないかと思っています。

森川／障害があってもなくても誰もが平等に接することができるようになって、障害者がまちに自然と解け込んでいけば、みんなが生きやすい世の中になるはずですね。

小柴／知ってもらうことから、積極的に取り組んでいきたいです。

先輩に聞きました！

働きやすさの 5のポイント

ポイント
01

時間にゆとりがある。

休みが取りやすく、残業も少なく。プライベートの時間が充実。利用者さんとの時間もゆっくりと流れ、じっくり向き合えます。

ポイント
02

あたたかい関係。

長い時間をともに過ごす利用者さん、長く務める職員同士との、家族に似た絆が生まれます。

ポイント
03

休みは 週休2日+1日。

4週で9回の休日が、職員全員に。つまり週休2日×4週に+1日の休日があります。

ポイント
04

毎年昇給& ボーナス支給。

景気や経済動向に左右されないため、毎年昇給しボーナスも支給されます。

ポイント
05

その他の 福利厚生も充実。

互助会では温泉やスポーツ観戦などの補助があり、家族で利用することができます。